

社会保険労務士稲門会会報

# 都の西北

第9号

2007年3月15日 発行：社会保険労務士稲門会  
発行人：藤原 久嗣

第6回・講演と懇親の夕べ 2006年12月2日（土）

2006年12月2日（土）午後3時より、「神楽坂エミール」にて、会員38名の参加のもと「第6回講演と懇親の夕べ」が開催されました。2001年7月に社会保険労務士稲門会が設立され、その年に第1回の「講演と懇親の夕べ」を催してから今年で6回目の開催となりますが、今回は初めて母校から現役の法学部（法科大学院）教授を講師にお招きすることができ、また時宜を得た講演テーマでもあったことから、他大学社労士会の方々にも積極的にご参加いただき、盛況のうちの開催となりました。



## 第1部・講演の部

第1部・講演の部は、講師に母校・早稲田大学の法科大学院教授の島田陽一先生をお迎えし、「解雇権濫用法理の実際例」というテーマでご講演いただきました。

「解雇権濫用」をめぐる諸問題は、われわれの業務に身近でかつ重要度の高いものであり、また先に実施された「紛争解決手続代理業務試験」（特定社会保険労務士試験）においても連続して出題対象となったテーマでしたが、労働法がご専門の島田先生のご講演はたいへん分かりやすく、また学問的見地からだけでなく、労務の現場に即した実践的見地からの考察も随所に見られ、参加された会員の皆さんの今後の業務に資するところが大きいといったものと思われまます。

※題字は小林昌尚顧問の筆によるものです。



講演中の島田陽一先生。先生の現在のご研究テーマは、パート・派遣・有期雇用労働者に関する法政策や労働者の人格権の問題、雇用の終了に関する立法論などです。



島田先生の講演を熱心に聞き入る会員諸氏。



### 島田陽一先生の講演内容

#### 解雇権濫用法理の実際例

1. 日本の解雇規制の現状と特徴  
解雇権濫用法理の形成と展開
2. 労働者に原因のある解雇と解雇権濫用法理
  - 1) 解雇事由
  - 2) 身体的・精神的労働能力の低下
  - 3) 勤務成績などの不良
  - 4) 企業秩序違反  
普通解雇と懲戒解雇、諭旨解雇、転換解雇
  - 5) 社会的相当性
3. 整理解雇  
整理解雇の4要件または4要素  
それぞれの要素の検討
4. 有期労働契約と解雇権濫用法理
5. 今後の解雇紛争  
労働審判制度  
労働契約法 解雇の金銭解決  
整理解雇の4基準

## 第2部・懇親の夕べ

第2部・懇親の夕べは、和田泰明常任幹事（東京会）の司会のもと、藤原会長の挨拶で開会し、小林顧問（前・当会会長）の乾杯の音頭で歓談に移り、会員同士の懇親を大いに深めました。途中、新入会員の自己紹介や秋田・長野など遠隔地からの参加会員の方々にもご挨拶いただきました。

懇親会は、終始なごやかな雰囲気の中で歓談が行われましたが、蒲生秀晴副幹事長（東京会）からのホームカミングデー・勉強会などの当会の最近の活動報告、大南弘巳幹事長（東京会）からの稲士会の活動報告、渡邊和洋常任幹事（東京会）からの東京会の動向報告などを挟み、最後に村上芳明副会長（東京会）からの中締めと閉会の挨拶の後、蒲生副幹事長の指揮により全員で校歌を斉唱して、盛況の裡に無事お開きとなりました。



挨拶を述べる藤原会長。



小林顧問の乾杯の音頭。



歓談の花が咲く。



新入会員も自己紹介を。



蒲生副幹事長からの活動報告。



最後は全員で校歌を斉唱。

## 第2回・勉強会「離婚時の年金分割について」ご報告－研修委員長・二宮 孝

2006年11月11日（土）の午後2時より5時まで、西早稲田にある奉仕園、スコットホールの会議室にて、同年3月に引き続いて第2回の勉強会が開催されました。

題目は「離婚時の年金分割について」で、副会長の堀口利氏（東京会）にお願いして講師を務めていただきました。

まずは制度導入の背景から始まり、離婚時の厚生年金の分割制度、離婚時の第3号被保険者期間の厚生年金の分割制度、社会保険庁への情報提供請求へと続き、Q&A方式での解説やマスコミや政治家の誤った発表例などを含めて、実践的な研修となりました。社会保険労務士にとっては身近で業務に直結したテーマだけに、参加者も大変熱心に聞き入っていました。

参加者数からみても当初の予想を超えて講師を含め27名にもなり、30人が定員の会議室は一杯となり、研修委員一同うれしい悲鳴といったところです。

質疑応答の後には、参加者の自己紹介と今後の希望するテーマについての意見交換を行いました。勉強会終了後には近くの中華料理店で懇親会を開催しました（22名参加）。



講義中の堀口副会長



参加者全員での活発な討議

なお、会員の皆さまの中で、勉強会のテーマについて何かご希望がありましたら、研修委員までお申し出ください。今期の研修委員は、蒲生秀晴（東京会）、御代田和典（埼玉会）、若山誉（神奈川会）、見方雅教（東京会）、二宮孝（東京会）の5名です。

## 「第2回・勉強会」に参加して

北 隆一（和歌山会）

昨年3月18日に開催された第1回勉強会に続き、特定社会保険労務士の研修期間中でしたが、今回の第2回勉強会にも参加しました。

今回の勉強会は「離婚時の年金分割」というタイムリーな内容で、個人的には同じ内容で県会の支部研修で講師を務めることになっていたため、堀口副会長の講義はたいへん参考になりました。

那智勝浦町という田舎から、なぜわざわざ東京まで勉強のため上京するのかと言うと、第一に、ITの時代とは言え、田舎では生きた情報を得る機会が少ないからです。

次に、懇親会等で、稲門会という県会の利害を離れた場で、いろいろな先生方の考え方に接することができるからです。

社会的なニーズを考えると、これからの社労士は年金相談と労働相談の両方ができることが基礎になると思います。これからも勉強会に参加して、しっかり勉強して、会員相互に発展できたらと思います。勉強会の継続的な開催をお願い申し上げます。



昨年の総会後の懇親会で「乾杯の辞」を述べる北氏（和歌山会）。

「第3回・勉強会」開催のご案内 3月24日(土) 早稲田奉仕園

次回の勉強会では、「安全衛生」管理の問題をテーマにとりあげます。

既に2月下旬に会員の皆様のお手元にはご案内が届いているかと存じますが、第3回の勉強会を下記のとおり開催いたします。今回は、最近マスコミを販わすことが多い「安全衛生」管理の問題をテーマにとりあげます。是非奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

【日時】 2007年3月24日(土) 午後2時～5時

【場所】 早稲田奉仕園

新宿区西早稲田2-3-1 TEL 03-3205-5411

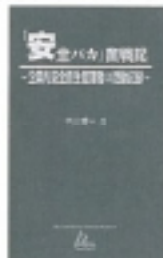
(東京メトロ東西線早稲田駅より徒歩5分)

【題目】 「安全衛生実例紹介」

【講師】 中川 伸一 氏 (社会保険労務士・安全衛生コンサルタント)

【参加費】 1,500円

※ なお、勉強会終了後に懇親会も予定しています(実費2,500円程度)。多くの人にご参加いただきたいと思います。



「安全バカ」奮戦記  
～企業内安全衛生管理者の  
活動記録～ (中川伸一 著)

「2006 稲門祭&HOME COMING DAY」－2006年10月22日(日)  
「年金労務相談コーナー」出店のご報告

2006年10月22日(日)に早稲田大学本学キャンパスで開催された「稲門祭&HOME COMING DAY」に、今回も社労士稲門会は「年金労務相談コーナー」を出店しました。今回は、校舎改築工事のために館内(1号館)での出店となりましたが、「離婚時の



やはり「年金分割」は気になる。館内出店のため、呼び込みも。



の年金分割」の問題をはじめ様々な相談がありました。

社労士稲門会では毎年、相談員・お手伝いのボランティアを募集をしています。「年金労務相談コーナー」についてのお問い合わせは、当会事務局まで(連絡先は会報の最終ページをご参照ください)。

「稲士会」第2回定期総会・研修会開催のご報告－2006年11月4日(土)

4つの士業稲門会が連絡して結成した「稲士会」の第2回定期総会・研修会、および懇親会が2006年11月4日(土)にリーガロイヤルホテル東京で開催されました。総会では網倉義久氏(司法書士稲門会会長)が稲士会の新会長に選出され、引き続いて行われた研修会では、テレビ等でもお馴染みの弁護士の大澤孝征氏が講演を行いました。

懇親会は、山口賢一副会長(税理士稲門会)の開会のことばで始まり、網倉義久新会長や来賓の江夏健一副総長の挨拶などのあと、歓談に入りました。

最後に山下政行理事(行政書士稲門会)の指揮のもと全員で校歌を斉唱し、当社社労士稲門会の藤原会長が三本締めを行って、会は無事終了しました。



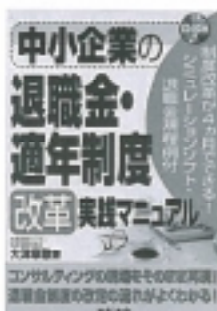
各士業から50余名が出席。



挨拶に立つ藤原会長。

## 会員の著書ご案内〔人事・労務篇〕

### 『中小企業の退職金・適年制度改革実践マニュアル』 大津 章敬 著



日本法令  
2005年9月 刊行  
定価 1,900円

本書では、仮想の中小企業を舞台にしたコンサルタント（社会保険労務士）と経営陣との検討会議形式で、退職金制度の現状把握から新制度の設計、適格退職金制度の中退共への移行までの一連の流れを、それぞれの段階での検討ポイントを示しながら、わかりやすく解説しています。

中退共だけでなく、退職金制度自体の廃止（退職金前払制度）、確定給付年金、確定拠出年金なども選択肢として視野に入れながら、それぞれの長所・短所を説明し、経営者の意向を確認しつつ、実務的観点で話が進んでいきます（なかなか臨場感ある！）。

付録として退職金診断ができるCD-ROMが付いており、中退共とポイント制退職金制度の設計シミュレーションができるようになっています。

事業主が読んで読みやすいものだと思いますが、経営陣に対するいわばプレゼンテーションというかたちで内容が進行して行くので、コンサルティングを行う立場からも参考になる部分は多いように思えます。

### 『「役割能力等級制度」の考え方・進め方』 二宮 孝 著



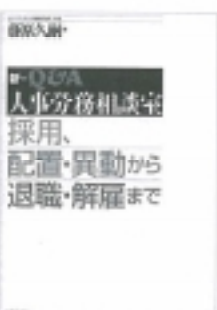
インデックス・コミュニ  
ケーションズ  
2003年9月 刊行  
定価 2,000円

本書では「役割能力等級制度」という考え方を軸に、等級制度だけでなく、評価制度、賃金・退職金制度から昇進管理、能力開発、人事面接までをトータルな人事制度とみなして、それぞれについて、理念と実務の両方の観点から、最近の動向にも触れながらわかりやすく解説しています。

中核となる「役割能力等級制度」とは、①等級数が多すぎて年功的な運用に陥りがちな従来型の職能資格等級を改め、②等級区分を職能と役割を複合した観点から4～5のクラスに絞込み、③賃金管理の運用上、必要に応じて各クラスの中でさらに等級区分を行うものです。

また基本給制度において、職能給を存続させながらも実質的には成果主義の処遇を実現し、さらには「役割」重視の考え方を打ち出しながらも、成長過程の一般職に対しては能力の伸長に応じた処遇が可能である仕組みを示しており、職能給制度のもとでの導入が容易なうえに、従業員にも受け入れられやすいと思われます。事業主にも読みやすい構成と文章で、小さな会社でも導入しやすいオリジナルな機軸を示した本だといえます。

### 『新・Q&A人事労務相談室—採用、配置・異動から退職・解雇まで』 藤原 久嗣 著



生産性出版  
2006年3月 刊行  
定価 2,600円

02年に刊行された『Q&A人事労務相談室』（「基本編」「賃金・諸手当・退職金編」）に続くもので、特に法律実務においてトラブルが多く、また判断が難しい事案も多い“採用、配置・異動から退職・解雇まで”をQ&Aで82問とりあげ、改正法規、判例に準拠し、明快・平易に解説しており、また、回答の1つ1つにはかなり突っ込んだ解説がされています。

さらに今日的なテーマとして、契約社員やアルバイトなどの非正規雇用の社員に関する質問や、高年齢者雇用安定法の改正に伴う高年齢者の継続雇用に関する質問、さらには、労働者派遣に関する質問も取り上げています（本書刊行後に社会的問題になるまでに世間の注目を浴びるようになった「偽装請負」についてもすでに触れられている）。

企業内でのこうしたトラブルに遭遇することの多い社会保険労務士や実務担当者が、問題に直面した際に過たずに判断し、適切な対応ができるようにするためには、大いに役立つ本であると思われます。

## 会員旅行記

### ガイドの誇り

澤井 賢治（神奈川会）

一番下の子がロシアのサンクトペテルブルグ音楽院に留学して、今年（2007年）の2月で満3年になる。このような事情がなければ決してロシアを訪れることはなかったであろう。子供が留学して1年半以上経った2005年11月、私と妻は、子供の生活振りを知りたくてサンクトペテルブルグに向かった。今回の話は、同地での1週間の滞在中に起こった何気ない日本語ガイド、マリアの話です。

同市郊外の墓地での出来事です。墓地には著名な政治家、映画俳優、作家、音楽家等が葬られている。墓地の入口に近い所に文豪ドフトエフスキーの墓があった。これがドフトエフスキーの墓です、とガイドマリアが言った。私と妻はスタスタと3つ位先の墓まで歩いた。ガイドが着いて来ない。振り向くとドフトエフスキーの墓の所に立っている。アッと思った。ガイドは墓の説明をするために墓の所で待っていたのだ。悪いことをしたと思い墓まで戻った。ガイドは何事も無かったかのように説明しだした。彼女の特質かも知れないが、ロシア人の特質を知った気がした。

市内の公園には、銅像や胸像が多い。詩人プーシキンの銅像の前で、私と妻は記念撮影をマリアにお願いした。マリアは私達被写体とプーシキンの銅像を撮るためにかがんだ。

厚いコートですそが水溜りに濡れた。彼女は、はるばるロシアに留学している娘に会いにきた両親に精一杯のガイドをしようとしていたのだ。

エルミターージュ美術館では、撮影禁止区域で私はカメラのシャッターを切ってしまった。近くの係員の老女が血相を変えて、私に当然ながらロシア語で怒鳴りながら向かってきた。マリアはすぐさま間に入り、すごい剣幕の老女と話し合いになった。そのとき彼女はとっさに私と妻をその老女から遠ざけた。2、3分だったか彼女と老女の話し合いを数メートル離れたところで見守った。彼女はすぐに戻ってきて、また何事も無かったかのように館内の案内をしてくれた。

子供の留学期間は後1年半、もう1度ロシアを訪れたい。彼女にも会いたい。娘が言う。ガイドの費用が勿体無い。私ができるからガイドはいらない。



プーシキンの像の前にて

#### ◆◆◆◆ 社労士稲門会への入会方法 ◆◆◆◆

社会保険労務士稲門会事務局にまずご一報ください。

事務局から入会申込書をお送りいたします。入会申込書をご提出いただいた後、改めて、年会費（5,000円）振込用紙、会則、会員名簿をお送りいたします。

連絡先：下記、「事務局」まで

URL: <http://www.sr-waseda.com>

#### 新会員をご紹介下さい！！

仲間を探しています。社会保険労務士としてのつながりの輪を日本中に大きく広げていきたいと思っております。是非ご協力下さい。

#### 【発行】社会保険労務士稲門会

《事務局所在地》

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4

共同ビル新銀座5階

ヒューマンテック経営研究所内

TEL 03-3543-6326

FAX 03-3543-6169

大変遅くなりましたが、おかげさまで無事に会報第9号を発行することができました。ご寄稿・ご指導いただいた方々、広報委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

当会報は会員の皆さまと一緒に作りあげていくことを趣意としています。

広報委員会では、当会報へのご寄稿を募るとともに、こちらから執筆をお願いすることもあるかと思っております。その折にはどうか皆さまご協力のほどよろしくお願い申し上げます。（広報委員長・和田）

#### 編集後記